



令和2年度 福岡PPPプラットフォームセミナー

油山市民の森 & 油山牧場リニューアル事業について

福岡市 農林水産局 森林・林政課

2020年8月26日



○「福岡市農林業総合計画（H29～R3年度）」における取り組み

- ・油山市民の森：市民が身近に森林体験ができる森林空間のあり方検討
- ・油山牧場：市民の農(畜産)業への理解促進を図る施設としての充実

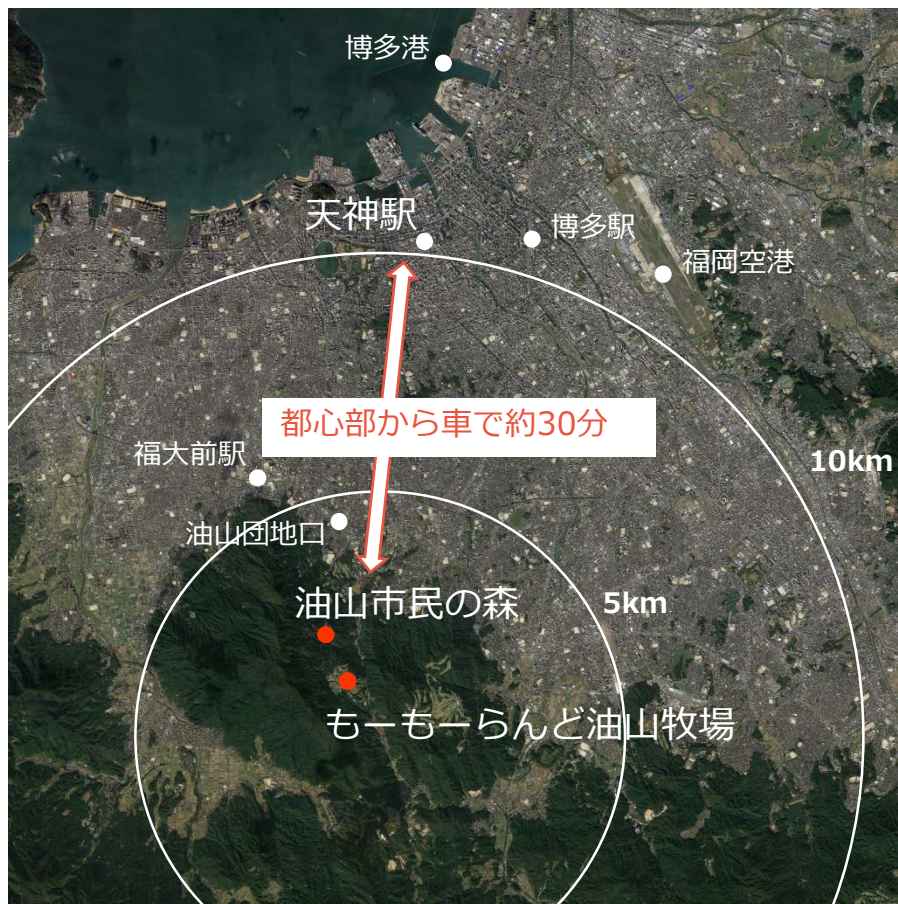
○都心近くでありながら豊かな自然を楽しむことができる特性を活かし、さらに魅力ある施設としていくため再整備をおこなう

※本資料は、現段階で想定している内容であり、事業条件の精査を進めていく中で変更する場合があります。

1. 現状と課題

対象施設の概要

油山市民の森および油山牧場は、彩り豊かな四季折々の自然や家畜とのふれあいができる市民の憩いの場として、年間約54万人が訪れる人気スポットです。



油山市民の森



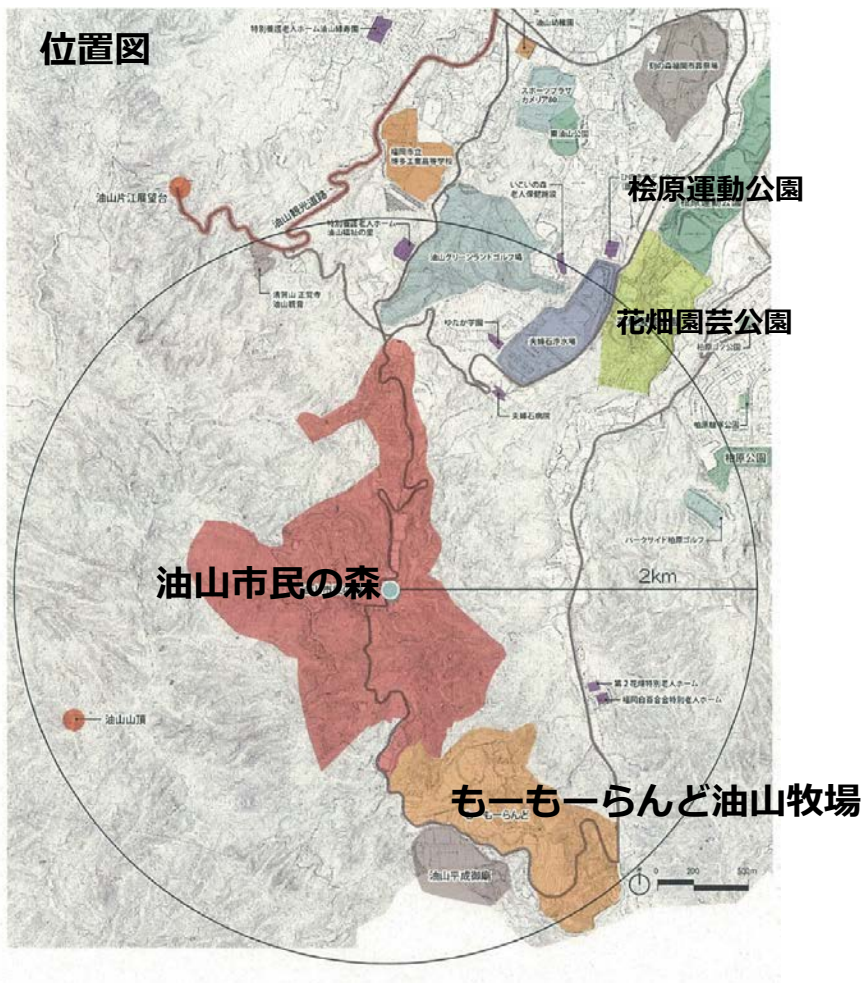
もーもーらんど 油山牧場

アクセス

- ・マイカー利用：福岡都市高速環状線「堤」ランプ下車，油山観光道路を南下（約15分）
- ・路線バス利用：博多駅・天神より「油山団地口」バス停下車
※「油山団地口」バス停より徒歩で約1時間，タクシーで約10分
- ・臨時バス利用（3～11月の日曜・祝日のみ運行）：
地下鉄七隈線「福大前」駅，「福大正門前」バス停より「市民の森」行

対象施設の概要

油山市民の森と油山牧場は隣接しており、管理道路でつながっていますが、現在は別々の施設として運営されています。



■ 花畑園芸公園

- ・ 閉園日：毎週月曜日，年末年始
- ・ 入園料：無料
- ・ 駐車場料金：普通車 300円
 中型車 1000円
 大型バス 2000円
- ・ 施設：芝生公園，果実展示園
 園芸センター，花壇広場 他



花畑園芸公園

■ 松原運動公園

- ・ 駐車場利用時間：8：20～21：20
- ・ 駐車場料金：無料
- ・ 施設：野球場，テニスコート
 管理事務所，健康広場 他



松原運動公園

油山市民の森の現状

標高597mの油山のほぼ中腹に位置し、約94ヘクタールの広大な敷地には、自然観察センターやキャンプ場、アスレチック施設、展望台などを有し、緑豊かな自然を満喫することができます。

■経緯

1967年：「福岡明治100年記念委員会」において、建設が決定

1969年：民間団体等により構成された「市民の森運動本部」を中心として、市民の寄付により整備

2019年：開園50周年を迎える



自然観察センター

■施設概要

所在地：福岡市南区大字桧原，大字柏原，城南区大字東油山

面積：93.7ha

設置目的：林業の普及，美しい自然環境や自然観察の場の提供

主な施設：自然観察センター，キャンプ場，アスレチック，管理事務所，駐車場（330台）など



キャンプ場（バンガロー）

油山牧場の現状

油山牧場は、市内酪農家の子牛を育てる「公共育成牧場」であるとともに、搾乳体験や乗馬体験など家畜とのふれあいができる「観光牧場」です。市街地を見渡しながら食事ができるバーベキューデッキや遊具施設などもあり、美しい景色を満喫することができます。

■経緯

1973年：公共育成牧場として開場

1996年：公共育成牧場に加え、観光牧場として再整備

■施設概要

所在地：福岡市南区大字柏原，大字桧原

面積：47.5 ha

設置目的：畜産業の振興，家畜や自然とのふれあいの場の提供

主な施設：【牧場用施設】育成牛舎，堆肥舎，機械格納庫

【ふれあい施設】畜産資料展示館，畜産加工研修施設，

市民研修施設，ふれあい家畜舎・馬場

ふれあい広場，搾乳牛舎，搾乳体験棟，管理棟

駐車場（455台）など



レストラン・売店



馬場

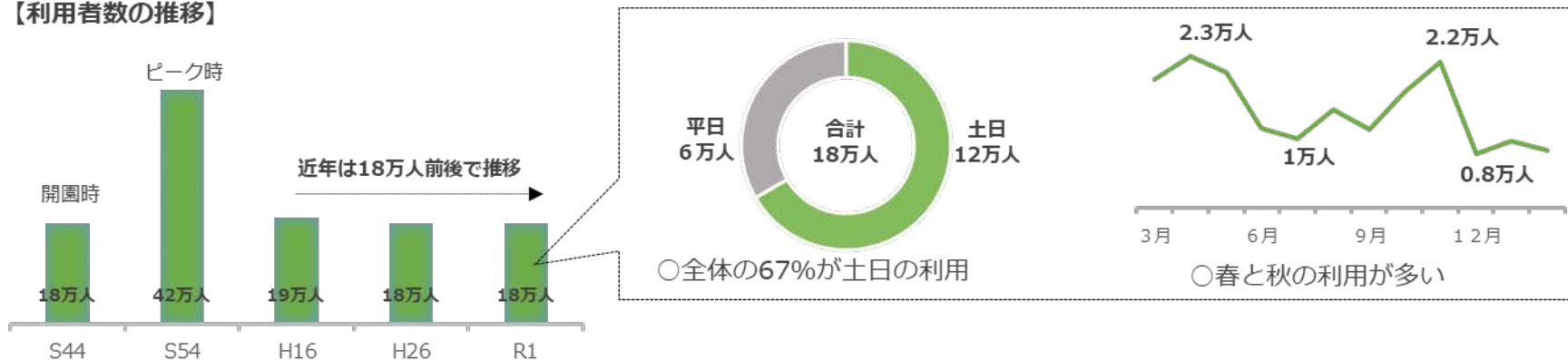


ふれあい広場のローラー滑り台

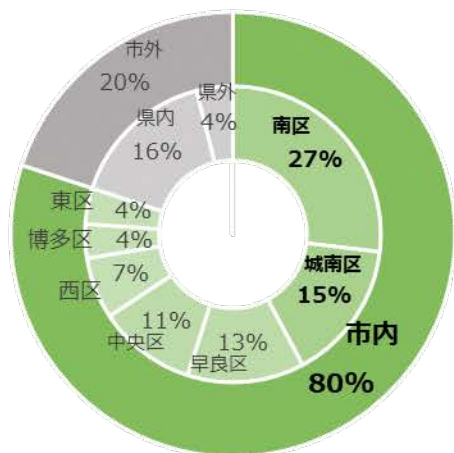
油山市民の森の利用状況

- 近隣の居住者（南区，城南区）の利用が多い
- 平日は60代以上，土日は50代以下で特に子供連れの家族の利用が多い

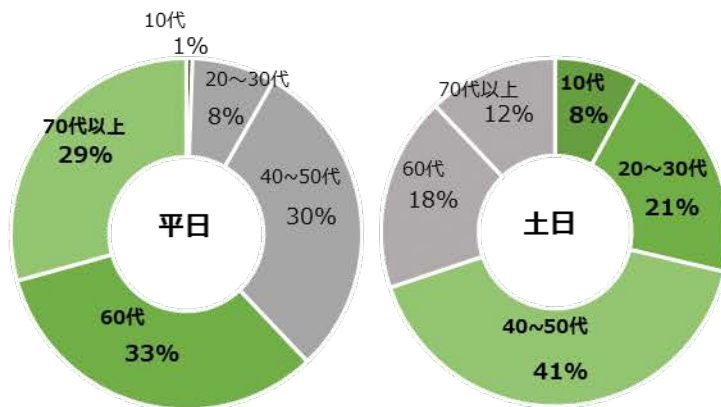
【利用者数の推移】



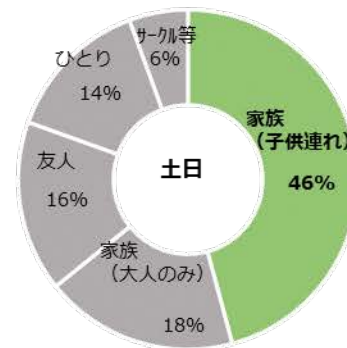
【利用者の居住地】



【利用者の年齢層】



【利用者のグループ構成】

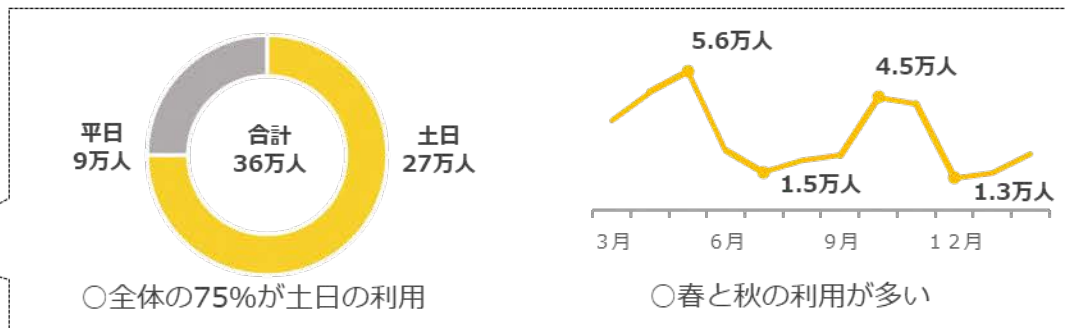
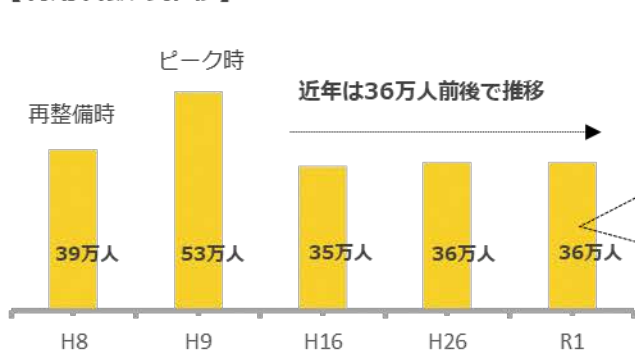


油山牧場の利用状況

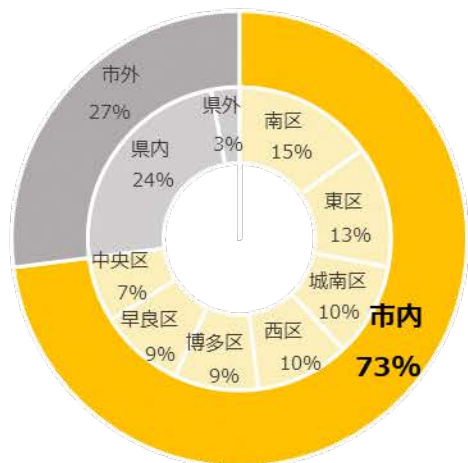
○全体の75%が土日の利用

○土日の利用者の83%が子供連れの家族

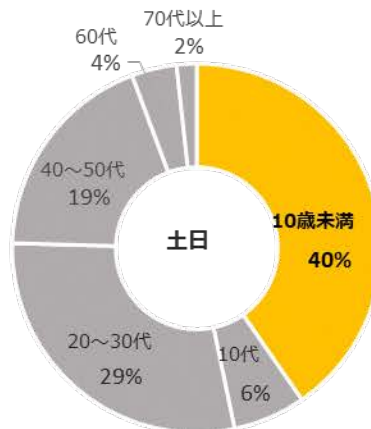
【利用者数の推移】



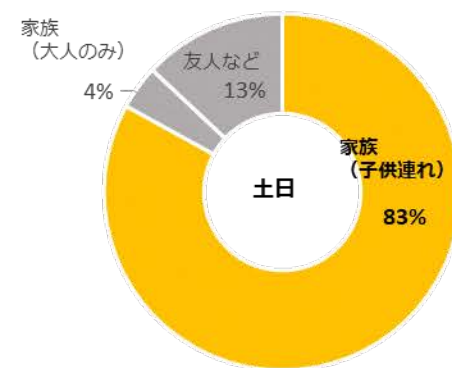
【利用者の居住地】



【利用者の年齢層】



【利用者のグループ構成】



課題

■ 施設の課題

施設の老朽化



築45年が経過したトイレ

市民ニーズとの乖離



駐車場から800mのキャンプ場

未活用スペース



稼働していない畜産加工研修施設

両施設の連携不足

- 隣接するメリットを活かしきれていない
 - ・混雑時の駐車場の共有
 - ・横断的なイベント開催

■ 集客の課題

利用者層の偏り

- 年齢層、グループ構成に偏りがある
 - ・油山市民の森は、30代以下の利用が少ない。油山牧場は、60代以上の利用や、家族連れ以外の利用が少ない
- 曜日や季節によって利用者数の差が大きい
 - ・平日、夏季および冬季の利用が少ない

より多くの市民に親しまれる施設を目指すためには、**従来の機能の充実**に加え、**新たな魅力の創出**が必要

2. リニューアルの基本的な考え方

リニューアルの方向性

市民の様々なニーズに対応

これまでの利用者層に加え、様々な層の市民に親しまれる施設を目指す。

市民の森と牧場の一体運営

利用者層の拡大や他の競合施設との差別化を目指す。

民間活力の導入

より質の高い市民サービスの提供を目指す。

リニューアルのコンセプト

○都心からほど近くにありながら緑豊かな自然環境や市街地を見渡せる眺望などの資源を活かすとともに、新たな魅力や賑わいを創出し、**自然、健康、学びの体験や農林畜産業とのふれあいを通して、両施設が生活の一部として市民から身近に親しまれる空間**となることを目指します。

コンセプトの実現に向けた3つの取り組み

取組 1 油山の資源を活かした魅力向上

豊かな自然環境や市街地を見渡せる眺望など、恵まれたロケーションをさらに活かすことにより、油山の魅力を高めます。

取組 2 都市生活者と自然の新たな関係の提案

都心部に近い立地を活かし、都市生活者が気軽に自然の中で遊びや仕事、学び、健康づくりなどを楽しむことができる環境をつくります。

取組 3 農林畜産業に親しむきっかけづくり

油山や市内で生産された農林畜産物の販売などにより、地産地消を推進するとともに、市民が農林畜産業を身近に感じることができるきっかけをつくります。

取組 1 油山の資源を活かした魅力向上

○自然環境の保全・再生

- ・自然を活かしたイルミネーションやアウトドアイベントの誘致など森林活用

○既存ストックの再整備

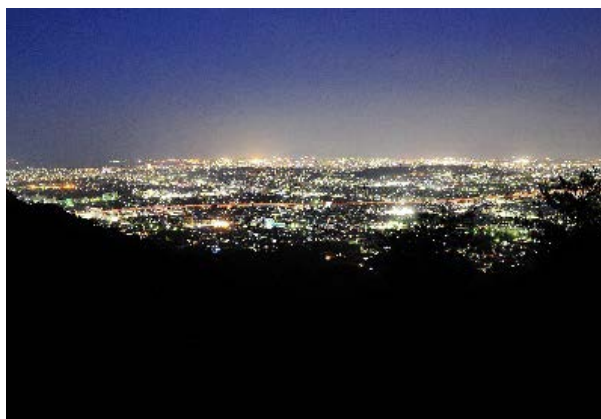
- ・老朽化した既存キャンプ場のリノベーションなど宿泊機能の強化
- ・既存施設をカフェにリノベーションするなど、賑わい拠点の創出

○油山の価値向上の推進

- ・眺望や自然を活かした施設のブランディング
- ・小型モビリティの導入など両施設の回遊性の向上



アウトドアイベント等の誘致



夜景などによる油山のブランディング



小型モビリティの導入

取組 2 都市生活者と自然の新たな関係の提案

○ 森林や牧場の強みを活かした体験価値の提供

- ・森林アスレチックなど自然を活用したアクティビティの導入
- ・オートキャンプ場やグランピングなど様々な層のニーズに対応できる新たな宿泊施設の導入

○ 新たなワークスタイルの提案

- ・コワーキングスペースなど、豊かな自然の中における新たなワークスタイルの提案

○ 環境教育の推進

- ・市民ボランティアとの連携による自然体験プログラムの充実

○ 自然体験を通じた心身の健康の増進

- ・森林セラピーなどのメンタルヘルス向上プログラムを導入し、心身の健康増進を推進
- ・マウンテンバイクなど森林スポーツに親しむ環境の整備により、健康づくりの場を創出



自然と親しむアクティビティ



グランピングなど新たな宿泊施設の導入



自然体験プログラムの充実 14

取組3 農林畜産業に親しむきっかけづくり

○農林畜産業の振興

- ・木材や乳製品など「油山産」の活用による、施設のブランド力の向上
- ・産直マルシェなど地産地消の推進

○農林畜産業への理解の促進

- ・酪農体験や乗馬体験など、家畜とのふれあいを通じた畜産への理解促進
- ・木工教室や農業体験など農林畜産業の担い手となる人材の育成

○農林畜産業に親しむライフスタイルの提案

- ・酪農体験と宿泊をセットにするなど、ライフスタイルの一部となるようなプログラムの提案



乳製品など食のブランディング



市内の農林水産物が集まる産直マルシェ



木育による林業への理解促進

3. 事業スキームの方向性

民間活力の導入の考え方

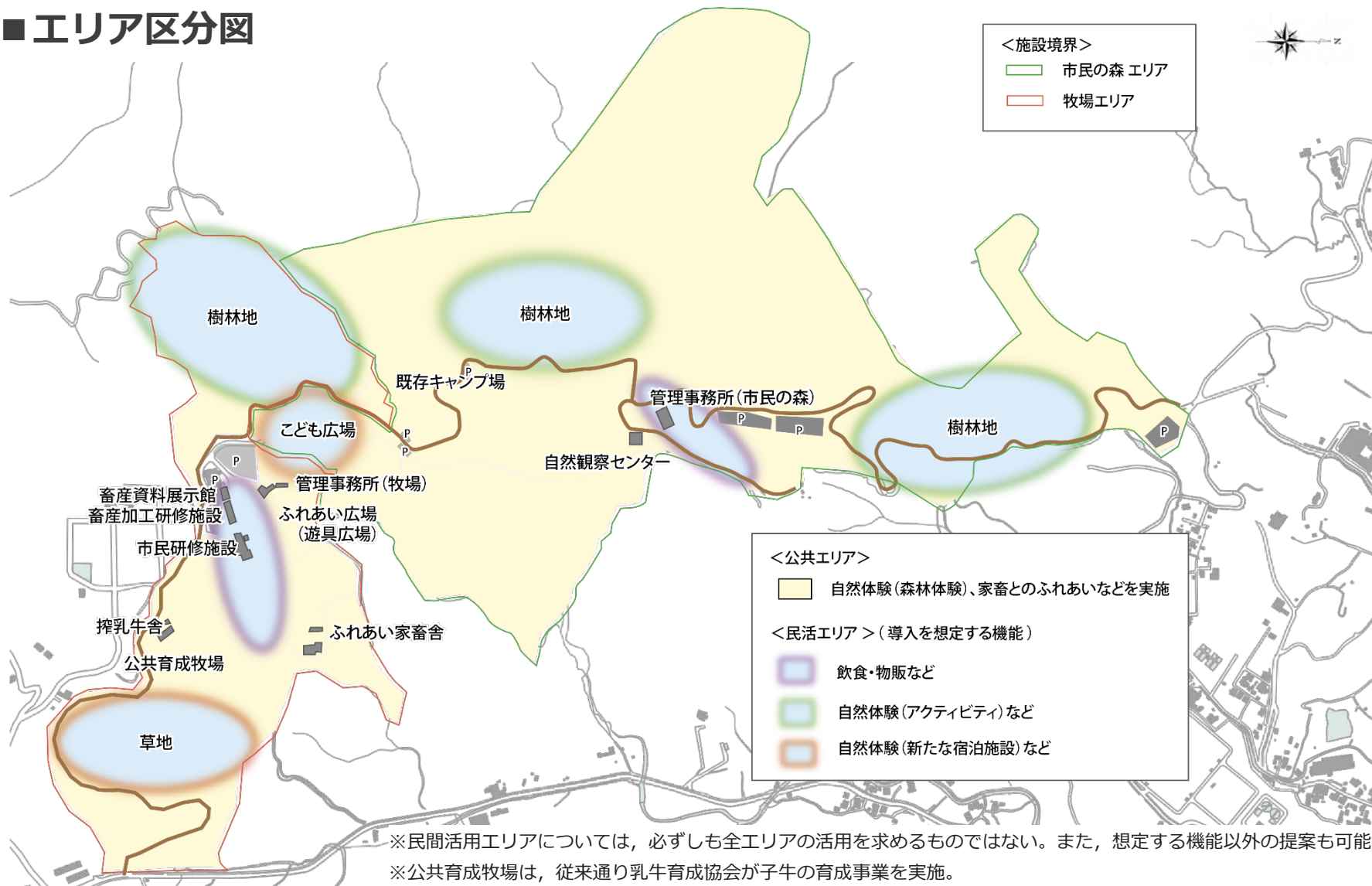
■ エリア分けの考え方

両施設を公共エリアと民間活用エリアに区分し、それぞれのエリアについて民間事業者の提案を求めます。

エリア区分	エリア分けの考え方	想定する機能
公共エリア (指定管理事業)	○現在の機能を引き続き維持するエリア ※民間事業者の投資を伴う提案を可能とする	・自然体験（森林体験） ・健康増進 ・家畜とのふれあい など
	○現在の機能を引き続き維持しつつ、民間事業者の投資を求めるエリア	・自然体験 (既存キャンプ場)
民間活用エリア (新たな魅力創出事業)	○有効活用できていないエリア ・利用頻度が低下した研修施設 ・アクセスが良い樹林地 など ○民間事業者の活用によりポテンシャルの発揮と魅力向上が期待できるエリア ・眺望が良い場所 ・平坦な土地 など	・飲食，物販 ・自然体験 (アクティビティ， 新たな宿泊施設) ・地産地消の推進 など

民間活力導入の考え方

■ エリア区分図



官民の役割分担の考え方

油山市民の森および油山牧場を一体的に管理運営することとし、官民の事業範囲および費用負担の区分は以下のとおりとします。

	福岡市	民間事業者
事業範囲	<ul style="list-style-type: none">○基盤・インフラ施設整備 (必要機能の確保・回復)	<ul style="list-style-type: none">○既存施設リニューアル事業○公共エリアの指定管理事業○新たな魅力創出事業
費用負担	<ul style="list-style-type: none">○公共エリアの指定管理費○基盤, インフラ施設整備費 (必要機能の確保・回復)	<ul style="list-style-type: none">○公共エリアにおける民間事業者の 投資に係る経費○新たな魅力創出に係る経費

公募スキームの方向性

■事業期間の考え方

指定管理事業と新たな魅力創出事業の事業期間は同一期間とし、指定管理開始日から**10年～15年**とすることを想定しています。

■事業者公募スキームのイメージ

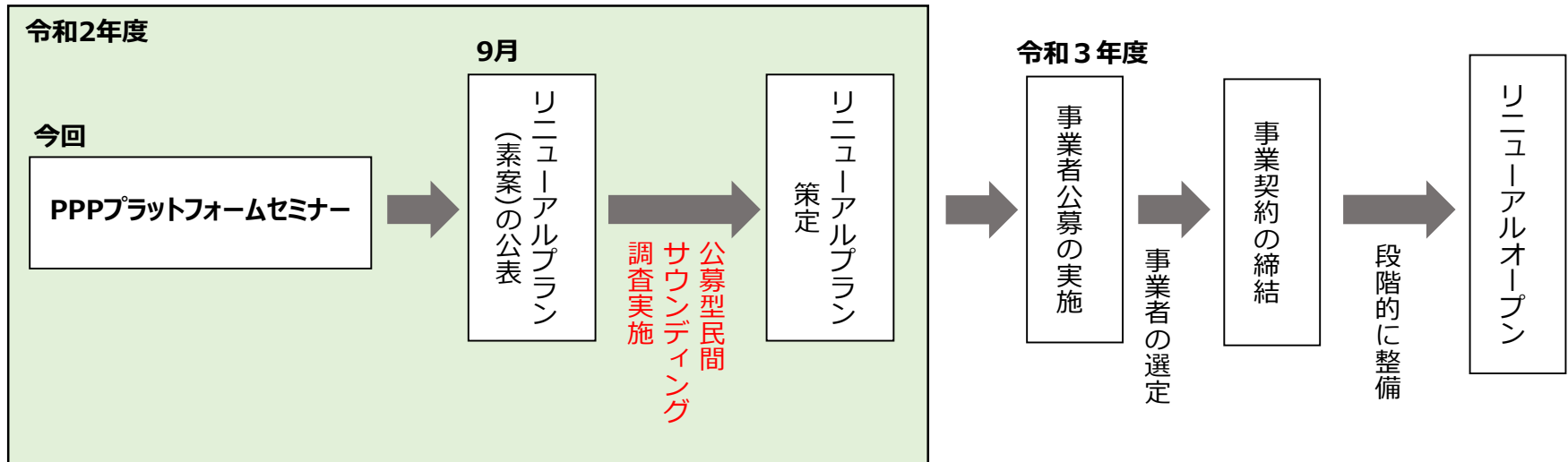
市は公募型プロポーザル方式により決定した応募グループと事業協定を締結し、官民連携により事業を推進します。



スケジュール

■今後のスケジュール（予定）

令和3年度の事業者公募を想定していますが、公募開始時期については新型コロナウイルスの影響なども踏まえて進めていきます。



An aerial view of a theme park. In the foreground, a large green field is filled with several small, conical tents and people. A paved path winds through the field. In the middle ground, there are several wooden buildings with green roofs, likely a restaurant or cafe area, with people gathered around. To the right, a blue roller coaster track is visible. In the background, a large, lush green hill rises under a blue sky with two colorful hot air balloons floating. The overall scene is vibrant and festive.

ご清聴ありがとうございました。